

6/10発売 2016年カーネギー賞受賞作！

奇跡の共訳！

詩人 最果夕ヒ

X

翻訳家 金原瑞人

結合性双生児の少女二人を 気鋭のアイルランド人作家が 詩で描いた切ない珠玉の青春小説

最果タエ
山寛紀ヒ
江慎紀ヒ

金原瑞人 装画 訳 ブックデザイン



わたしの全ての わたくしたち

サラ・クロツサン

定価:1,700円 (+税)
ISBN: 978-4-596-55211-2
版型: 四六変型 | 408頁

学校生活を通して育む友情、初めての恋、そして別れ……

「死ぬまでにしたいことリスト」を作ってめいっぱい生きる二人の姿を通して自分を見つめなおす機会を与えてくれるみずみずしいYA文学。

私たちを結合双生児と呼べば、理解できていると信じている大人たち。ひとりとして、おんなじ結合双生児なんていないのに。みんなどこかしら違っているのに。たやすく同じ箱に入れていく。私たちの体には、わからないことが多すぎるから。かれらはギザギザと知りたい。くついている私たちの肉体、それってなに、どういうこと？くついているつてどういうことなの？だから、私たちを教えてあげる。黙っていたら、かれらは一生わからぬいから。教えてあげる。勝手に、好き勝手に、想像されたくはない。おもしろおかしく「理解」なんてされたくない。あなたに、協力したい、わけじゃないよ。

卷二

私たちは坐骨結合体双生児です。

坐骨のところでくづいているタイフの双子です、私をちは、頑を2つ、心臓も2つ、肺と腎臓も2組、

動く脚なら2本で、動かなくて、とても小さな脚なら、1本、

くつついています。犬の、しつぽみたいに。

前世でなにをしたんだろう、どういう罰をうけて、そんな姿で生まれたんだろう、そう思う
う？ でも私、最悪だなんて、思つたことがないよ。他の双子たち、頭と心臓がくつついでいる
子もいるし、腕が2本しかない子もいる。その子たちよりは、いいって思う。

これ以外の体を知らない。

これ以外の人生を知らない。

たつた一人で生きるなんて、
リアリティがなさすぎる。

ティツピといっしょに生きられて、私は最高に幸せ。

心からそう言える。

著者 サラ・クロッサン / SARAH CROSSAN

最果タヒ

金原 瑞人

【本件に関するお問い合わせ】 株式会社ハーパーコリンズ・ジャパン
一般書籍編集部 PR: 金 (きん) / 編集: 川端
TEL: 03-4213-0830 / FAX: 03-3217-7401
Email: press@harpercollins.co.jp